

# NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

8a Feira, 28 de Dezembro de 1937

(1) No. 1384



## 死物狂ひの敵を撃擣す 濟南城を全く占據す

### 我尊き犠牲實に百二十名

#### 大黃河敵前渡河の激戦

(天津電) 山東省内に於ける邦人の既得権益及び財産が暴虐なる支那軍によつて破壊掠奪され事態重大化するに至つたので軍は断乎これを膺懲するに決し天津軍司令部は二十三日午後四時、其旨發表したが其旨看板によれば支那軍は山東省芝罘に強固なる防禦陣地を構築、我軍の空襲攻撃が敢行されるる風説喧傳され狼狽してゐる

(東京ラヂオ二十七日午前六時臨時ニユース) 津浦線方面に於て大連河を前に濟南城を指呼の間に待機中であった我赤柴部隊は昨二十六日夜來遂に壯烈なる敵前渡河を開始した、敵は死物狂ひとなつて我軍の渡河を阻止し我方戰死實に百二十名の多きを算するに至つたが屈せず對岸の敵兵を撃擣しつゝ進撃し午後十一時半頃、濟南城の一角を占據した後、微塵城内の敵兵を攻撃、今朝八時を期して城内に突入、日下盛んに敵敗殘兵を激戦を交へつゝ漸次これを持蕩中である

(東京ラヂオ二十七日) 山東省内に於ける日本の捕獲は暫り犯さぬ、としよ難民の言を信じ我軍は大黄河の北岸にあつて遙かに濟南城を望み一步も兵を進めず支那軍の行動を監視の形であつたが畢竟不遜の支那軍は去る十八、十九の兩日に亘り邦人の紡績工場及び商店街の掠奪打等を敢て爲し二億餘に上る損害を我に與へ命懸け足らず抗日挑戦の舉に出づるに到つたので我軍は最早黙過し得ず去る二十三日濟南攻略の行動を開始した、壯絶極る大黃河敵前渡河戦の火蓋は切られた、かくて赤柴部隊先鋒は頑強に抵抗する敵を排撃二十六日午後十一時三十分遂に濟南城門を占據、二十七日午前八時各部隊は協力決戦の勢を以つて城内に雪崩れ込み残敵を掃蕩中である、義

### 青島市長の避難勧告

(上海二十七日) 青島市長沈鴻烈は廿六日、青島市民に對し避難の勧告を發した

▲(上海二十四日) 其後の青島市内は邦人遺留財産其他の掠奪行為繼續され匪化した掠奪犯人を射殺する銃聲が一層人心を不安に陥れてゐる

### 惡路を冒して猛進

#### 杭州我軍の有に歸す

##### 今後の作戦に重大意義

(武康二十四日) 三方面より緊密なる連絡を保ち、本早朝進撃を開始した杭州包圍軍は泥濘渡河して惡路を物ともせず、本日正午より鹿山、野添、小坂井、片岡各部隊は杭州郊外靈巖寺後方より南北に連なる山岳地帯を占領、眼下に西湖及び杭州城内を俯瞰し秦淮河の一部は錢塘江

沿岸富陽を占據した

(武康二十四日) コ杭甬鐵道地帯を杭州に迫る藤井部隊は二十四日正午頃早くも杭州東方約八キロの官橋鎮に進出した、同所は敵の飛行根據地で又騎兵旅團の本部がある杭州城は全く指呼の間に迫切

(上海二十四日) 我軍は二十三日夕、餘杭縣境を完全に占領、更に進撃、二十四日早朝杭州西方退路を遮断した。南京蘇州と共に江南に於ける敵軍の一部は二十四日午前八時、蘇州も遂に我軍の有に歸した。右につき大軍の一部は二十四日午前八時、州を占領せり、コ一州は江南に於ける鐵道自動車航空路の重要な地點にして多年抗日の中心地たりこれが陥落は我軍

重要據點であつた浙江省の首都コ一州も遂に我軍の有に歸した。右につき大軍の一部は二十四日午前八時、州を占領せり、コ一州は江南に於ける鐵道自動車航空路の重要な地點にして多年抗日の中心地たりこれが陥落は我軍

### 今後は遊擊戦で

#### 日本軍に抵抗する

##### 蔣介石獨人記者に語る

(上海二十五日) 漢口來電に依れば蒋介石は二十三日其所に於て獨逸人記者を見出し、ある但し支那軍は莫大な

南京脱出最初の會見談を爲した、而して右會見に於て蒋介石は支那今後對日作戦に於て獨逸人記者を爲す旨を述べ左

介石は支那今後對日作戦に於て獨逸人記者を爲す旨を述べ左

支那の五千年の歴史に於て今回程の大戰的抵抗を爲す旨を述べ左

# 玉音御朗らかにさへ

## 森嚴の氣院内に満つ

赤誠・聖慮に對へ奉らん” 感激の一瞬

### 第七十三通 常議會開院式

(東京二十六日) 戰時下の第七十三通常議會に聖慮長ノ臣民亦克々協力致シテ時姫ニ衡レリと宣ふや議場寂として聲なく聖慮を畏み森嚴の氣院内に満ち渡るのであつた。勅語を拜受する松平貴族院議長の階段を踏む足も感激にうちふ

るふ、議員の中には感激に兩眼を瞬く者さへある。墨支齊憲に聖戰の旗を進める將兵の上を用はせ給ひに又結後一般臣民の上にも聖慮に對へ奉らん赤試の念は議場に溢れ議員の面上には舉國一致國政に當らん熱意に燃え議場は全く壯嚴な緊張にござされたのであつた。

(東京二十六日) 二十六日衆議院本會議で可決された勅語案答文左の如し

勅語奉答文

恭シク惟ルニ 車駕親臨シ

ア茲ニ第七十三回帝國議會

感應ノ至ニ堪ヘス

師連戰勝ヲ奏シテ氣氛外ニ張り民心内ニ振シテ

モ戰局未だ定マラサセ給

テ留慮ヲ將來ニ垂レセサセ給

誠恐誠惶謹ミテ奏ス

フ臣等謹ミテ聖旨ヲ奉體

陛下ノ隆恩ニ對へ奉り下國

民ノ倚託ニ酬イムコトヲ期

衆議院議長 臣小山松壽

御に勤敵を掃蕩し遂に敵

の首都南京を攻略し赫々ナ

る武勳を樹て國威を中外に顯揚す。之固より勤候成

然らしむるところなり。雖

も將士の忠勇と勳功とは國

のもの等しく感激おかざる

ころに伴ひ將士の任務益々重き

を加ふ秋、發寒に際しその

勞苦甚大なるものあつ

る衆議院は茲に院議を以

て將士の迅速を祈り感激の

至誠を表す

敬申法議

衆議院は今次支那事變に於ける名譽ある戰死者の英靈に對し敬仰の意を表す

に對し敬仰の意を表す

に對し敬仰の



**Notícias de S. Paulo**  
Primer Diario Nipponico  
Publicado no Brasil

DARIO P. ALMEIDA  
DIRECTOR  
ROCCO KOWYAMA  
PROPRIETARIO

Caixa Postal, 2765  
Telephone 2-5655  
la Assembléa No. 16  
AO PAULO-BRASIL

ASSIGNATURAS  
Anno - - - 30\$000  
Semestre - - 15\$000  
Número do dia - \$500  
Exterior, anno - 60\$000

(括弧内は各内拂込済)

▲ジユキア植民地

ウリスタ植民地

三〇鉢 家庭園

二〇鉢 長瀬由藏

山本健造

高野利雄

平林八

吉田直吉

佐藤直作

内山金

久保

パウル 地方委員会

山代深文

木村重一郎

大田由太郎

水村幸一郎

吉田登太郎

大谷誠永

吉川重南

吉田繁太郎

鈴木利造

大谷誠永

吉川重南

吉川重南